

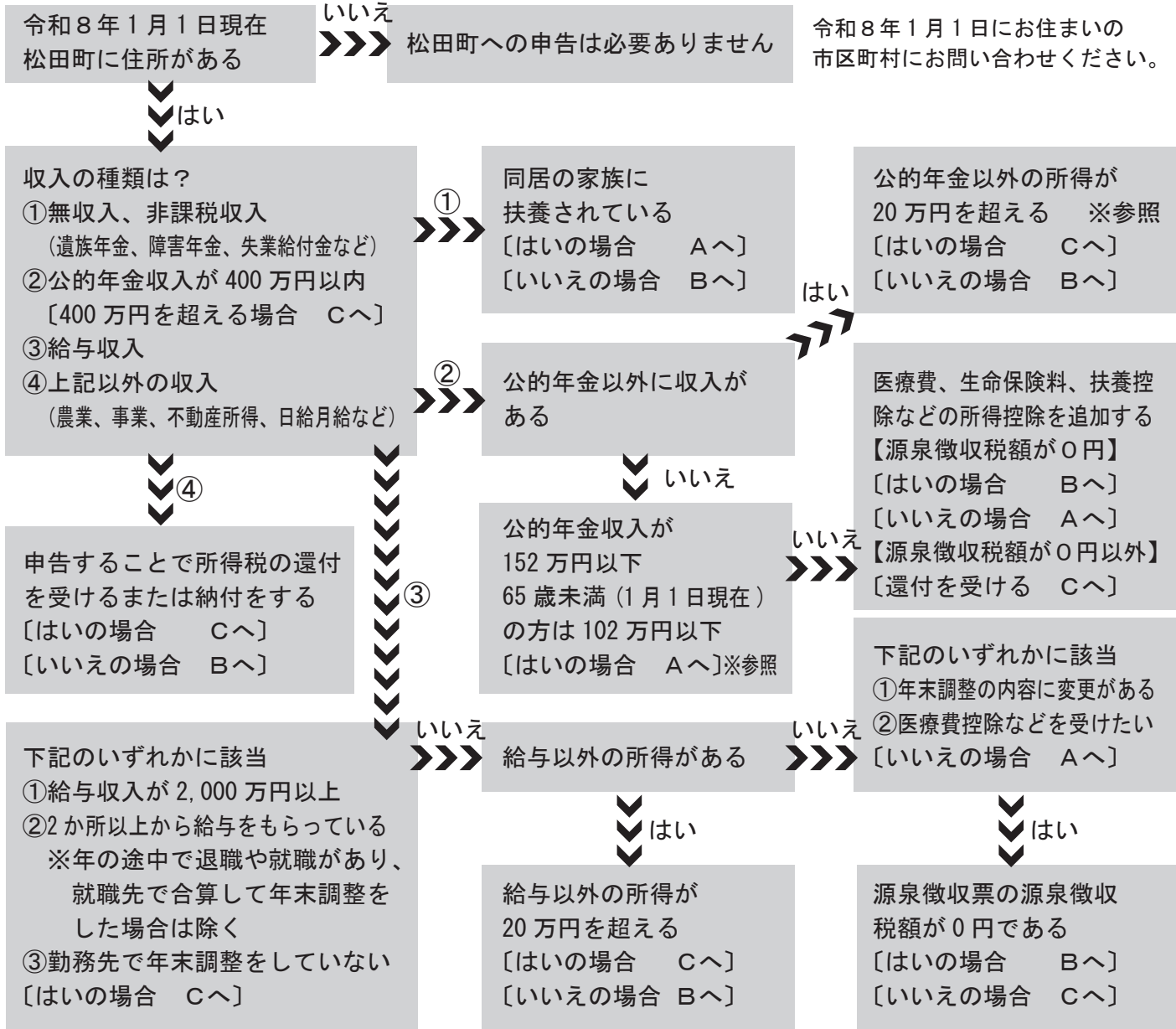
まだ 税申告のおしらせ

令和8年1月号 編集・発行 松田町役場 税務課

あなたの“申告相談必要度”をご確認ください

この表は、制度に基づき作成していますが、源泉徴収票の内容によっては、申告を必要とする場合もありますので、ご容赦ください。

スタート



※源泉徴収税額により所得税の還付が発生する場合がありますので、お問い合わせください

ゴール

- A** 原則、所得申告は必要ありません
- B** 住民税（町民税・県民税）の申告が必要（松田町役場へ申告してください）
- C** 所得税の申告が必要（税務署、松田町役場など）

お勤め先から課税資料が届かなかった場合などは、申告していただくことがあります。課税資料は保管しておいてください。

国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料などの算定資料にもなる重要なものです。必ず申告してください。

申告書の提出期限は令和8年3月16日（月）

◆確定申告に関するお問合せ

小田原税務署 電話 35-4511（代）
〒250-8511 小田原市荻窪 440 番地

◆住民税申告に関するお問合せ

松田町役場 税務課 電話 83-1224
〒258-8585 松田町松田惣領 2037 番地

ご自宅からマイナンバーカードを利用して e-Tax 送信

ご自宅から、スマホ又はパソコンとマイナンバーカードを利用して、確定申告書等作成コーナーで申告書等を作成、e-Tax による送信（提出）ができます。



作成コーナー

マイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れや失効にご注意ください。
有効期限は電子証明書の発行日から5回目の誕生日までです。有効期限切れ等の場合は、松田町役場町民課でお手続きください。

e-Tax に必要なもの

- ✓ マイナンバーカード
- ✓ マイナンバーカード読取対応のスマホ※（又はICカードリーダライタ）
※専用アプリ「マイナポータル」のインストールが必要です
- ✓ マイナンバーカードのパスワード2つ
 - ① 利用者証明用電子証明書のパスワード（数字4桁）
 - ② 署名用電子証明書のパスワード（英数字6～16文字）

医療費控除は「医療費控除の明細書」が必要です

申告する方やその方と生計を共にする配偶者やその他親族のために令和7年中に支払った医療費がある場合は、所得金額から差し引くことができます。

まずは計算して医療費控除額を確認してみましょう。
領収書は自宅で5年間保存する必要があります。

$$\begin{array}{|c|c|c|c|} \hline \text{a} & \text{b} & \text{c} & \text{d} \\ \hline \text{令和7年中} & \text{保険金などで} & \text{10万円 ※} & \text{医療費} \\ \text{に支払った} & \text{補てんされる金額} & & \text{控除額} \\ \text{医療費の総額} & \text{(高額療養費など)} & & \\ \hline \end{array}$$

※所得の合計額が200万円までの方は所得の合計額の5%

<計算の例>

医療費 150,000 円で補てん額 20,000 円の場合

$$\text{a } 150,000 \text{ 円} - \text{b } 20,000 \text{ 円} - \text{c } 100,000 \text{ 円} = \text{d } 30,000 \text{ 円}$$

スマホ申告での医療費控除の入力方法やe-Taxでの申告手順については、こちらの二次元コードを読み取り、「動画で見る確定申告」からご確認ください



「医療費控除の明細書」に記載する項目

- ①医療を受けた方の氏名
- ②病院・薬局などの支払先の名称
- ③医療費の区分（次のどの区分か）
診療・治療 介護保険サービス
医薬品購入 その他の医療費
- ④支払った医療費の額
- ⑤ ④のうち生命保険や社会保険などで補てんされる金額（高額療養費など）

※医療を受けた方、病院・薬局ごとに医療費を合計して記載します。
あらかじめ領収書などを整理し、計算しておいてください。

※医療保険者から交付を受けた「医療費通知（医療費のお知らせ）」を添付すると明細書の記入が省略できます。

町役場での申告用紙配布は1月19日（月）から

※医療費控除を受けるためには「医療費控除の明細書」の添付が必要です

数に限りがありますので、できるだけ国税庁ホームページからダウンロードしてください

